

# 破天荒

教宣部

5078号

2019年  
11月22日

化学一般京滋地本  
全竹中労働組合

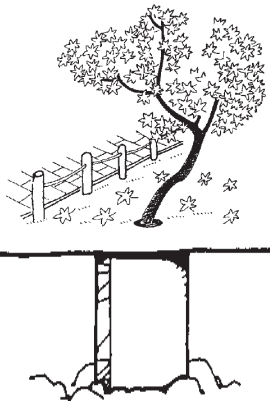
## 化学一般 安全衛生対策部主催

# 安全衛生学習交流会

### お知らせ

冬季一時集約臨大

11月25日(月)



11月16日(土)化学一般 安全衛生対策部主催の「安全衛生学習交流会」に矢野・山川・稲岡の3名が参加しました。AMは基調講演、PMは各支部からの労災分析報告、分散会と内容の濃い一日でした。

基調講演「働く人々の病気と災害を減らす活動」と題して藤谷先生から実体験に基づいた判りやすい講演がありました。

ハイリツヒの法則「1件の重大事故のウラに、29件の軽傷事故、300件の無傷事故(ヒアリハット)」を高所作業で工具を落とした例で説明されました。

通った人のすぐ横に落ちた(ヒアリハット)、人の手に当たった(軽傷事故)、頭の当たった(重大事故)。ヒアリ

ハットが起こった時点で対策を行うことが大切との指導がありました。

正にそれが今、和歌山での鉄パイプ落下事故です。4日前にも鉄パイプの落下



がありヒアリハットが発生していた。業者は再発防止策をまとめ作業員に伝えたそうだが不徹底だったのか。

その他「病気と災害を正しく怖がる」「技術とは危険なものや安全に使いこなす知恵」など目にウロコの言葉が多くあり有意義な講演でした。



### 「無責任」

ある非正規社員さんの話。自分では判断も決定もできない業務。上長Aに説明し、さらにその上司Bへの説明と承認を求めたところ、上長Aは困惑。結局、上長Aは何の説明もせず上司Bへは非正規社員が説明。

上長として物事を理解し、上司Bへの説明は上長Aが行うべきではないのか?。いつも頼りにしていた上長急に人が変わったように、私も急に依頼されてえ〜と責任回避発言が最近目立つ。



非正規社員の業務上の相談などに対しても上長Aは日常的に目を背け、この非正規社員の方は日々悩まれています。

### 「受け身」

相談、そこで生産と開発にて作成する方向で検討しませんかと打ち合わせを行うも。開発のある方の一言

【開発では作成しませぬ!!受け身である部署が作成するのはおかしい!!依頼側が作成するべきや!!】、【営業の責任者から依頼がくれば考えろ!!】、【今後は私が精査して納得いかないものは依頼されても提出しない!!】担当者レベルで、処理している自体おかしい、【そも

そも依頼票なんかいるんですか?」などなど。自分の思いばかりを言い放ち、周りの意見を聞くこともなく、アイデアを出すわけもなく、協力する姿勢もなく、実務を知らない、必要性もわからないのに言い放題。

ちなみにこの方は依頼票に印を押していますので知らないわけはないはずなんです。正直、みんな業務に支障が無いように、依頼票の悪い部分は修正し

効率の良いように前向きに考えて進めようとしているのに、このような方がいるから物事が進まない。結局、生産は独自に依頼票を作成、開発は依頼されるまで何もしないのと。自ら知ろうとしない、人に任せっきりで、誰かに依頼されないと動けない。まあ受け身であれば責任を負う必要なく、依頼側の責任にできますからね。

みなさんはどう思いますか?

みなさん依頼票をご存じですか?、営業さんなどが仕様書や取扱説明書、評価依頼などに用いる黄色い三枚綴りの帳票です。その帳票が数年前に増刷は禁止になりました。そこで困った営業さんが電子データ(エクセル)にて依頼票を作成しましたが、承認を得られずボツ!!。それでもこのままでは業務に支障がでると営業さんは生産、開発の実務担当に